



SHIKA-CHU IB Journey

鹿追中学校国際バカロレア通信



鹿追町立鹿追中学校
IBCO 奥平 和也
2025.10.30
Vol.37

「岡目八目（おかめはちもく）」

これは、「傍（かたわ）らから見ている者の方が、当事者よりも状況や物事を客観的に正しく判断できる」という意味の諺です。囲碁の世界から反対の視点から言えば「**鹿を追う者は山を見ず**」という、鹿追の名にピッタリな諺もありますね（笑）

前回の通信では「探究の町」として発展していくためのキーポイントとして、《探究の師たる地域の大人の協力と学びのアップデート》。それから《縦の連携》を挙げました。本号で追加したいのは《客観的な視点》、岡目八目であります。

都留文科大学との交流

本町は IB の認定を目指す中での繋がりから交流を深めていた都留文科大学と昨年度より正式な提携を結んでいます。（これはいわゆる横の連携ですね。）

都留文科大学は文系学部としては国内で初めて **IB 機構から正式に IB 教員養成のための認可を受けた学科**を有しており、以前この通信でも登場した丸谷先生や本校に勤める米山先生の本町へのご紹介、過日開かれた都留文科大教授をお招きしての保護者向けの IB ワークショップの開催や生徒向けの講演などなど、様々な面で鹿追町の学びを支えていただいているところです。

代わりと言ってはなんですが、本校と瓜幕中学校では都留文科大学の教育実習を受け入れさせていただいています。IB 校の数进行えば、そこで教育実習ができる機会はなかなか貴重なのです。しかしこの都留文科大学の生徒さんとの交流も、本校にとって非常に実りのあるものとなりました。

今年度は本校に 2 名の実習生を迎えました。このお二人、とにかく優秀。話していると頭の良さを感じることもさることながら、「人としてもとっっても良い」のです。IB のミッションステイトメントを体現しているかのよう。なんか二人とも「脚も長

かった」ですけど・・・そういえば米山先生も長いな・・・選考基準に入っているのか・・・（冗談です）？

そんな彼らの素晴らしい立ち振る舞いは生徒たちの近い将来の目指すべき指標として心に刻まれたと私は考えています。

『数年後に、自分もあんな風になりたい。』

そのためにはどんなことが必要なんだろう？

今の自分に足りない部分をどうやって伸ばしていけばいい？

そんな憧れの人物に出会えるチャンスは、実はそう多くはないものです。

実習後に私からお願いして、2人からこの学校の取組についてのご感想をいただきました。前置きが長くなりましたが、「岡目八目」です。

鹿追とは別の環境で育ち（どちらもシティボーイです）、かつIBについて専門的に学んできたお2人からの客観的な意見はとても貴重です。そしてやはり、お二人の所感は示唆に富んだ、本校にとっても有益なものでした。

お二人の許可を得て、こちらに掲載させていただくことにしました。二週に分けてそのままお届けいたします。その文章の質をご覧いただければ、私の前段での「褒めっぷり」が大袈裟ではないということがお分かりいただけると思います。本校の生徒たちにもこんな思考力を身につけていってほしいなと思います。



以下フォームズアンケートより転載

実習生アンケート:MYP 校での教育実習を終えて

一人目:角振 公久さん

実習、本当にお疲れ様でした！

今回の実習を終えて、率直なご感想をお聞かせください。実習生のみなさんの貴重なご意見は、私たちが提供する MYP の学びをさらに良いものにしていくための大切な指針となります。また、この地域のことしか知らない子どもたちや地域の方々にとって、比較対象のない中で自分が受けている教育の価値を判断することは難しいものです、外部からお越しいただいた皆さんならではの客観的な視点もぜひお伝えいただければ幸いです。

Q1: 全体的な感想:IB のフレームワークを取り入れた公立中学校での教育実習を終えてみて、どのような感想をお持ちですか？印象的だった点など、思いつくところを自由にお聞かせください。*

タブレット活用や探究活動などによる生徒の主体的学びを促進する環境が非常に整っているように感じた。テストを自己採点させることや、問題を自作してクラスで共有すること、生徒同士で教え合うことに見られるように、授業中受け身にならないような構成になっている点が印象的だった。先生方も、知識をただ伝達するのではなく、ファシリテーターとして学びを促進する役割をされており、生徒の思考力の成長に繋がっているように感じた。一方で、公立の学校だからこそ、IB について無知な状態で入学した生徒をどれだけ迅速に学校の方針に取り込めるかという点が重要なのではと感じた。それは先生方にも同様で、方針が IB だから従おうではなく、そこに理解を持ち、積極的に参加し

ようという心構えをいかに持てるかという点が教育の質そのものを左右する大きな点だと考えた。従来の教育と良くも悪くも異なる IB だからこそ、十分な理解と柔軟性が必要不可欠なのだろうと感じた。

Q2:こうした地域の公立中学校において IB を取り入れていくこと(探究的な学びの推進)にはどのような強みやメリットがあったと感じましたか。*

探究活動のアイデアを実行に移しやすいことが一番の強みだと思う。地域の方との関わりが密接であることで、協力を得られやすいと考えるからだ。また、自分の活動の過程や結果を目の当たりにしやすく、活動の意義や達成感をより強く感じられることに繋がるとも考えられる。また、特色のある教育を取り入れることで外部へのアピールポイントとなり、地域の活性化に繋がることもメリットの一つとして挙げられると考える。

Q3:反対にこうした地域の公立中学校において IB を取り入れていくこと(探究的な学びの推進)にはどのような難しさやデメリットがあったと感じましたか。

探究活動については、できることの幅が年々狭まっていくことが推測される。対象となるエリアが狭い分、活動が他の生徒と被ったり、できることが限られてきたりすることが起こりやすいと考えるからだ。加えて、広い視野を持った学習をしても、活動の対象を狭まったエリアに限定することで、頭で学んだことを実現させる経験が乏しくなり、得たスキルを宝の持ち腐れのような状態にしてしまうことが懸念される。だからこそ、他の地域との連携がより一層重

要となると考える。IB 導入に関しては、地域特有に根差した考え方や文化が、新しいものを容易に受け入れてくれるのかという疑問を抱いた。

Q4: その他、何か思いつくことがあれば自由にご記入ください。

タブレットの使用方法に関して、すぐに AI ツールを使用する生徒が多く見受けられ、それは AI や ICT に精通するための練習になっているとも考えられるが、自分で思考して答えを導く練習にならず、知識としても定着しづらいのではと感じた。

Q5:最後に本校で学ぶ生徒たちに向けエールをお願いします。*

離任式でもお話をさせていただきましたが、みなさんが日々取り組んでいる授業や活動はすごくレベルの高いもので、社会に出てからも絶対に生かせる学びです。自信をもってこれからも頑張ってください。応援しています！！

以上です。

小野寺さんの感想は次号にて！

最後に一つ宣伝です。本校3年生の中尾くんと馬場さんがコミュニティプロジェクトの中で立ち上げた「漫画喫茶」の企画第一回が以下のように9月に行われ、多数のご来場をいただいたものですが、

~まちなかに誰でも気軽に立ち寄れる場所を!!~

1日かぎりの

地域食堂

ウリマックホール

日 時	9. 20 [土] 11:30~14:00
場 所	ウリマックホール (鹿追町瓜幕西2丁目9番地)
メ ニ ュー	カレーライス (プラスα) ※アレルギー対応はしていません
金 額	大人: 300円 高校生以下: 100円 未就学児: 無料 ※1人分食べる場合は、100円いただきます

★予約不要! フラ〜ットとお立ち寄りください。
★こども (小学生以上) だけでも寄ってって♪
★未就学児は保護者同伴でお願いします。
★テイクアウト不可になります。

マンガ喫茶コーナー

ロビーにて、鹿追中のCP活動によりマンガ喫茶が、緊急オープン! 食事の前後、ぜひお立ち寄りください!

ドリンク飲み放題: 100円

OPEN 11:00~14:00

ひらめきメンバー募集中!!

一緒にお手伝いしてくれる方を大募集★興味のある方は下の問い合わせ先まで!

~問い合わせ先~

鹿追町社会福祉協議会
☎ 0156-69-7700

主 催 : ひらめきプロジェクト実行委員会

担当: 馬場天音 中尾嘉月

漫画喫茶開催!

こんにちは! 鹿追町立鹿追中学校の馬場天音と中尾嘉月です。私たちは今、総合的な学習の時間の授業でCP(コミュニティプロジェクト)を行っています。そこで、私たちが実施するのは「漫画喫茶」です。少しでも興味を持ったら是非ご参加下さい!

日時: 9月20日 11時~2時

場所: 瓜幕ホール(地域食堂と合同で開催します)

漫画貸出募集中!

ただいま、私たちは漫画を集めている状況です。少しでも漫画を集めるために漫画の貸し出しを募集しています。貸し出しのルールについては、完結している漫画なら全巻、完結していない漫画は出ている所までを貸してください。また、多少のよれや汚れがついてしまった場合はご了承ください。漫画が紛失してしまった場合やあまりにも汚れやよれが酷い場合は運営と貸主と相談のうえ、弁償または代替品で対応します。もし、貸し出ししてくれる方はお電話か上にあるQRコードで、メッセージをください。

電話番号 0156-66-3704

この度、以下の通り、11月1日(土)に第二回の開催が決まったということです。私も第一回に行かせていただきましたが、漫画の品揃えが豊富でありかつ、それぞれの「お気に入りの作品」が集まっていることもあり、思わず手に取ってしまいたくなるよ「良い感じ」の作品が並んでいます。それが100円で読み放題飲み物付きなんて最高すぎる・・・! 漫画を読むことはもちろん、ぜひ中尾くんと馬場さんの二人に、こうしたイベントを立ち上げようと思った経緯や、お気に入りの作品についてなど聞きつつ、コミュニケーションを取っていただければ幸いです。



担当:馬場天音 中尾嘉月

漫画喫茶



鹿追町立鹿追中学校の馬場天音と中尾嘉月です。私達は前回、瓜幕で漫画喫茶を行いました。今回は平成館様にご協力してもらい、もう一度漫画喫茶を行うことになりました。前回の反省を生かし、取り組んでいきたいと思っているので、みなさん是非ご参加ください！

日時:11月1日 13時～16時

場所:国際交流センター平成館

住所:鹿追町新町1-21-1

※飲み物は100円で飲み放題になっています

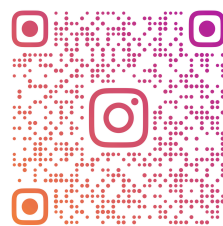
漫画貸出募集

内容は、前回と同様です。

もし、貸し出ししてくれる方はお電話かQRコードで、ダイレクトメッセージをください

電話番号 0156-66-3704

QRコードはこちら→



88927AMANE

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

バックナンバー2024	概要
<u>鹿中 IB 通信NO.1</u> ↑クリックするとアクセスできます。	この通信の趣旨や 国際バカロレアとは何か？ について書いています。
<u>鹿中 IB 通信NO.2</u>	年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。 当日の動画や資料も見られます。
<u>鹿中 IB 通信NO.3</u>	こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた 参観授業（国語）をIB視点で解説 しています。
<u>鹿中 IB 通信NO.4</u>	参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を 《概念》 と絡めて書いています。
<u>鹿中 IB 通信NO.5</u>	参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から 《IBで知識の定着にかける時間が減る問題》 に対する工夫について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO.6</u>	IB 教育の大きな柱である ATL スキルと10の学習者像 とはどういったものかについて、 道徳の授業実践 を元に解説しています。

<u>鹿中 IB 通信 NO,7</u>	十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,8</u>	子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,9</u>	「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,10</u>	「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,11</u>	「コンサルタント訪問」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,12</u>	「コンサルタント訪問」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,13</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《前編》
<u>鹿中 IB 通信 NO,14</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《後編》

<u>鹿中 IB 通信 N0,15</u>	「コミュニティプロジェクト」についての説明と発表会の告知をしています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,16</u>	2 学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,17</u>	保護者懇談会の中身と生徒の総括的評価課題の成果物について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,18</u>	2 学年の総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,19</u>	2 学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の発表会のお知らせをしています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,20</u>	「未来への提案」の発表会の動画と、「総合的な学習の時間と各教科科学びの繋がり」について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,21</u>	「自分探究プロジェクト」の実践のひとつについてのご紹介と関係するイベントの告知をしています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,22</u>	IB に関する PTA 保護者のみなさまとの座談会の模様についてご紹介をしています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,23</u>	コンサルティング終了と認定に関しての取組について書いています。

<u>鹿中 IB 通信 NO,24</u>	実際に鹿追中学校が認定されたらどうなるのかについて書いています。
---------------------------------------	----------------------------------

バックナンバー2025	概要
<u>鹿中 IB 通信 NO,25</u>	この通信の主旨や既習事項の リサイクル について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,26</u>	2025 年度の IB 概要説明（生徒向け）の模様について書いています。当日の資料や動画もご覧いただけます。
<u>鹿中 IB 通信 NO,27</u>	本校生徒の活躍の一コマと、6月から始動する総合的な学習の時間「 自分探究プロジェクト 」と「 コミュニティプロジェクト 」について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,28</u>	「 体育祭 」の改革と、修学旅行発表会のお知らせについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,29</u>	2025 年度 Unit 1 の各教科総括的評価課題の概要について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,30</u>	「 目指す生徒像 」について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,31</u>	「 瓜幕中学校の視察 」について書いています。

<u>鹿中 IB 通信 NO,32</u>	IB の保護者向けワークショップのご案内について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,33</u>	日々の取組の様子について、写真でダイジェストにお届けしています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,34</u>	日々の取組の様子について、写真でダイジェスト第二弾です。
<u>鹿中 IB 通信 NO,35</u>	授業の中で探究のサイクルを実践していくことのメリットの一つについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,36</u>	鹿追町立図書館での IB の取組と探究の町として発展していくためのキーポイントについて書いています。